学校番号	４１４

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「精選　文学国語」（明治書院）						
副教材等	「入試頻出＋現代重要単語　TOP2500」（いいずな出版） 「新成現代文」（尚文出版） 「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「最新国語便覧確認ノート」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実用的な資質・能力の涵養が急がれるようになった今日、あえて高等学校という場で文学を学ぶ意義は何であろうか。H・ケラーは自伝の中で「文学は私のユートピアである」と述べた。多様な作品に接するにあたり、眼光紙背に徹し、他者の感情の機微や思想の片鱗にふれる経験は、多角的な視座・視点を得たり、思考力・読解力を醸成したりするうえで役立つことは言うまでもない。しかし、そのような能力を得るだけでなく、予測不可能な時代を生き抜くためのよすがを（たとえごくわずかであっても）文学作品の中に見出して欲しい。本授業がその手助けとなるならば、担当者通して至上の悦びである。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手通しての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めよう通している。	「書くこと」、「読むこと」の 各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手通しての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろう通している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	1 小説入門 ［教材］ 「悪童日記」 アゴタ・クリストフ／堀茂樹訳 (p.12～p.19)	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえている。 c：登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め、作品を読み味わおう通している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と 確認
	3 文学の境界を広げる ［教材］ 「鞄」 阿部公房 (p.51～p.57)	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作品全体を踏まえて話し合うことを通して、解釈の多様性について考察し、粘り強く我が国の言語文化の特質について理解を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と 確認
	1 小説入門 ［教材］ 「小説とは何か」 三島由紀夫 (p.32～p. 34)	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引きつける独創的な文章になるよう工夫している。 c：比喩や象徴、オノマトペなどの表現方法を用いながら、読み手の共感が得られる文章になるように工夫しよう通している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査 発表の評価	行動の観察と 確認
二学期	1 小説入門 ［教材］ 山月記 中島敦 (p.20～p.31)	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 b[読]：作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めている。 c：文体の特徴や語りの構造に興味をもち、登場人物の心情や境遇を踏まえて、作品を読み味わおう通している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と 確認
	2 詩歌入門 ［教材］ 「汚れつちまつた悲しみに」 中原中也 (p.43～p.44) ［教材］ 「崖」 石垣りん (p.45～p. 46)	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作者の感情が詩の文体にどのように表れているかを考え、表現の特徴についてまとめることを通して、内容を解釈し、粘り強く我が国の言語文化の特質について理解を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と 確認
	4 言葉の力 ［教材］ 「こころ」 夏目漱石 (p.102～p.122)	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：登場人物の境遇や、それぞれの人物関係を押さえ、作品の魅力を読み味わおう通している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と 確認

	4　言葉の力 ［教材］ 「夏目漱石・芥川龍之介往復書簡」 （p.123～p.128）	a情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：決められた設定の中で、自分自身の日常を伝える手紙を書くことを通して、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう粘り強く工夫し、自らの学習を調整しようとしている。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査 発表の評価	行動の観察と確認
三学期	3　文学の境界を広げる ［教材］ 「押絵と旅する男」 江戸川乱歩 （p.69～p. 89）	a：文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c：作者のものの見方を通して、日本の言語文化の特徴について考えを深めよう通している。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査	行動の観察と確認
	5　伝統と革新 ［教材］ 「短歌十二首」 「俳句十二句」 （p.149～p.153）	a：言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]：文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、読み手を引き付ける独創的な文章になるよう工夫している。 c：指定された形式で俳句を詠むことを通して、近・現代の俳句を理解し、粘り強く俳句の実作と相互批評に取り組んでいる。	記述の確認 及び定期考査 小テスト	記述の確認 及び定期考査 発表の評価	行動の観察と確認

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　１５～２０　）時間

・読むこと　…　（　５０～５５　）時間